

ADOBE® ACROBAT® X

総合カタログ



仕事に自由と効率を。

ADOBE® ACROBAT® X STANDARD Windows*

ADOBE® ACROBAT® X PRO Windows*/Mac OS

ADOBE® ACROBAT® X SUITE Windows*



ADOBE® ACROBAT® X 製品ファミリー



Windows*

ADOBE® ACROBAT® X STANDARD

信頼性の高いPDFを活用するためのビジネスツール

ビジネス文書やWebページ、電子メールなど、日常的にやり取りされる様々な情報を、信頼性の高いAdobe PDFで効率的に管理・活用するための機能を提供します。フォームの作成、配布、データ収集の電子化もサポートしています。



Windows*/Mac OS

ADOBE® ACROBAT® X PRO

チームの業務効率を上げる、次世代ビジネスコミュニケーションツール

Acrobat X Standardのすべての機能に加え、様々な種類のファイルを表現力豊かに伝わりやすく整理してまとめたり、日常の作業を効率化するための先進機能などを搭載。文書業務の効率化と、伝わるコミュニケーションを実現します。



Windows*

ADOBE® ACROBAT® X SUITE

ドキュメントに、伝わる力を。

AcrobatやPhotoshop®を含むビジネスツールセット

Acrobat X ProやPhotoshop® CS5などのパワフルなツール群を使用して、高品質な画像、動画や音声、画面録画、トランジション、ナビゲーションなどを備えた魅力的なビジネスドキュメントを、プロの手を借りずに作成・共有することができます。

▼ コミュニケーションをさらに広げる、Acrobatソリューション

ADOBE® READER® X

主要なプラットフォームで33言語に対応しており、世界中で幅広く利用されています。さまざまな人との円滑な情報共有をサポートします。新たに保護モードを搭載し、より安全にAdobe PDFを表示します。

Acrobat.com

Acrobat Xから直接利用できるオンラインサービスです。容量の大きいファイルのやり取り、画面共有、共有レビューやフォームデータ収集など、チームの共同作業を効率化するワークスペースとして利用できます。

製品についての詳しい情報は www.adobe.com/jp/acrobat/

Acrobat Standardでは一部ご利用できない機能があります。詳しくはp11をご参照ください。

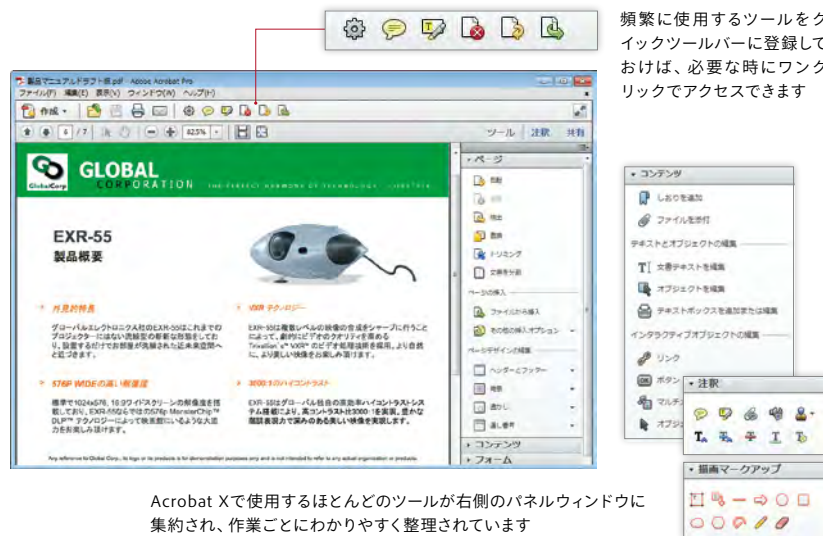
もっと幅広く簡単に
PDFを活用

Acrobat Xで、仕事の効率アップ!

作業効率を第一に考えた操作画面

NEW

ユーザーインターフェイスが新しくなり、ウィンドウがすっきりと、使いやすく整理されました。メニューの中を探しまわることなく、作業に応じて必要な機能に素早く簡単にアクセスできます。



Acrobat Xで使用するほとんどのツールが右側のパネルウィンドウに集約され、作業ごとにわかりやすく整理されています

日常的によく使う複数の作業を自動化

NEW

新しい「アクションウィザード」で日常的に行っている複数の作業を自動化し、仕事の手間を軽減できます。Acrobatで行う複数の作業の手順を登録、保存しておくことで、それらの作業をワンクリックで実行できます。作成した作業手順を書き出し、チームで共有することも可能です。

(Acrobat Proのみの機能です)



「新規アクションを作成」画面で、必要な作業の項目を順番にクリックして登録し、各項目の設定をカスタマイズします

NEW 新機能、UP 強化された機能を表します

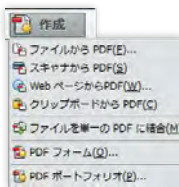
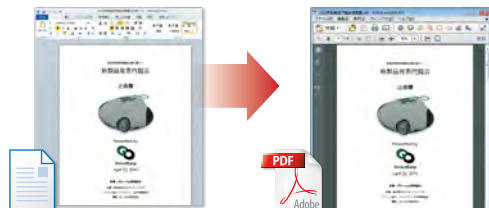
多種多様の電子文書ファイルはもちろん、紙の書類やWebページ、電子メールなどを、信頼性の高いAdobe PDFに簡単に交換して、情報をまとめて管理できます。また、様々な情報を1つのPDFファイルに束ねて、効率的に管理、活用できます。

Microsoft® Officeアプリケーションから

UP

Word、Excel、PowerPoint、Accessなどのアプリケーションで作成されたMicrosoft Office 2010ファイルをクリックでPDFに変換できます*。

*Windowsのみ、Microsoft Office 2010 (32ビット版) に対応



紙の書類から検索可能なPDFを作成

UP

紙の書類をスキャンして、簡単にPDFに変換できます。改良されたOCR処理によってテキスト認識の精度が向上し、情報の検索がスムーズに。ファイルサイズの圧縮も強化されました。



スキャン機能が強化され、ファイルサイズの縮小、OCR処理の精度向上、カラー/グレースケールの品質改善を実現しています

WebページからワンクリックでPDF作成

UP

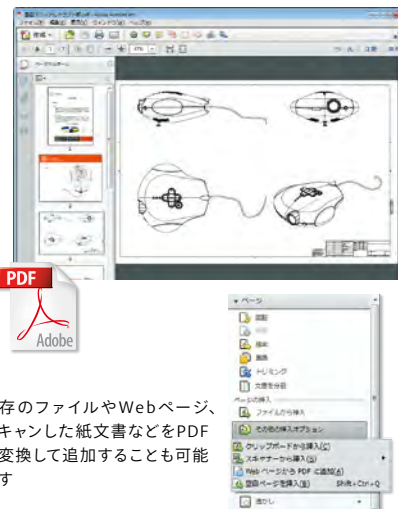
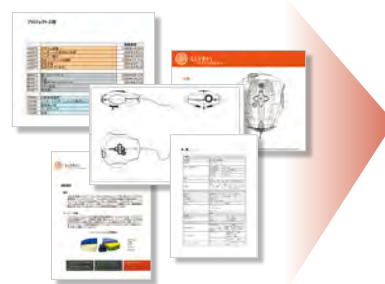
Microsoft Internet ExplorerやMozilla Firefoxで表示しているWebページを、リンクやアニメーションを保持したまま、ワンクリックでPDFに変換できます*。テキスト、画像、リンクなどを保持したまま、PDFとして保管しておけます。

*Windowsのみ



複数ファイルを1つのPDFに結合

「ファイルの結合」機能を使用すれば、複数のファイルを一度に選んで、1つのコンパクトなPDFに束ねることができます。サイズや縦横比が異なるファイルも含めることができ、ページの順番を並べ替えたり、ヘッダーやフッター、通し番号などを追加できます。



既存のファイルやWebページ、スキャンした紙文書などをPDFに変換して追加することも可能です

様々な情報をわかりやすく、見栄え良く整理する

UP

複数のファイルを、元の形式のまま1つのPDF内にまとめることができる「PDFポートフォリオ」機能を搭載。関連するさまざまなファイルを整理することができ、バラバラになりがちな情報の閲覧性が向上します。(Acrobat Proのみの機能です)



PDFポートフォリオは、様々なレイアウトやテーマを選ぶことができ、タイトルやロゴ、コンテンツに関する説明文などを追加して、独自にカスタマイズできます

*PDFポートフォリオはAcrobat / Adobe Reader 9以上で意図通りにご覧いただけます

Acrobat Xがあれば、作成元の文書ファイルや編集ソフトがなくても、PDF上で様々な編集を行うことができます。テキストの編集や書き込み、しおりやリンクの追加、さらに動画や音声などのコンテンツを埋め込むことも可能です。

テキストの編集、書き込み

元の文書がなくても、PDF上で直接テキストを修正したり、ちょっとした書き込みを行うことができます。

本機の特徴

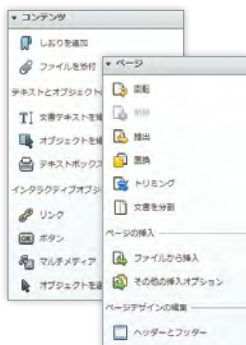
外観的特長
これまで

本機の特長

外観的特長

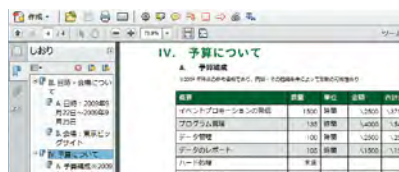
これまでのプロジェクトにはない

2010年9月現在



しおりを追加

文書の目次の役割を果たす「しおり」を作成すれば、見たい項目をクリックするだけで瞬時にそのページに移動できます。



ページデザインの編集

ヘッダーとフッターを追加することで、ページ全体に対して文書タイトルや日付、ページ番号などの一貫した情報を表示できます。また、「社外秘」や「見本」といった透かしを入れることも可能です。



マルチメディアを追加

PDFに動画や音声、Adobe Flash®アニメーションなどを埋め込むことで、文字や画像だけでは表現しきれない詳細な情報を伝えることができます。(Acrobat Proのみの機能です)

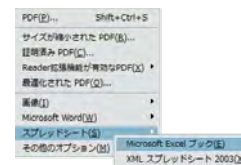


ページの体裁を整える

サイズや縦横比の異なるページで構成されたPDFについて、個々のページを回転させたり、トリミングしたりすることで、すべてのページを均一に揃えることができます。



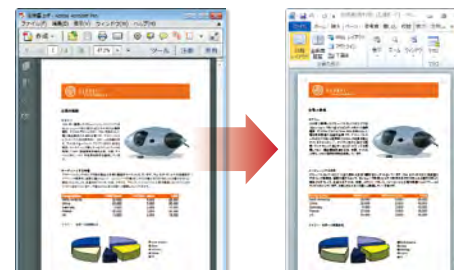
PDF上のテキストや画像、表などを個別に取り出して、他の文書で簡単に再利用することができます。Microsoft WordとExcelから作成したPDFなら、再びWordとExcelに戻して編集が可能。文書の再作成の手間を軽減できます。



Word形式での保存精度が向上

UP

書式設定をより正確に保持したまま、PDFファイルをMicrosoft Wordファイルとして保存することができます。

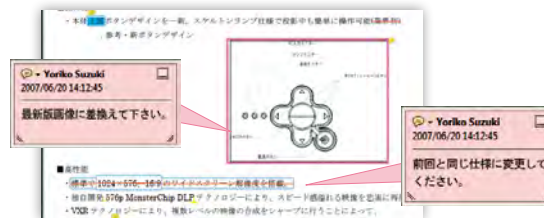


Wordファイルに書き出す際に、PDFの注釈を含めたり、必要に応じてOCRを実行することも可能です。

注釈

PDF上にコメントを記入

Acrobat Xには様々な注釈および描画マークアップツールが備わっており、紙にコメントを書き込む感覚で、PDF上にメモを貼り付けたり、テキストに修正指示を入れることができます。紙に手書きで記入するよりも、はるかに見やすく、正確にコメントを伝えることができます。



注釈パネルから、コメントに必要なツールに素早くアクセスできます

Acrobat Xが提供するレビュー機能やオンラインサービスを利用すれば、最新の情報やコメント、承認をチーム、顧客、取引先と効率的に共有できます。紙文書をやり取りするよりもはるかに速く、正確に情報を伝え合うことができます。



チーム全員で情報とコメントを共有

社内外におよぶ文書の確認（レビュー）作業を、メールまたは共有サーバーを利用して行うことができます。サーバーベースの共有レビューでは、サーバー上のPDFにレビュー参加者全員がアクセスし、コメントを記入、共有することができるため、意見の取りまとめも簡単です。



複数の人がつけたコメントは、注釈パネルの注釈リストに一覧表示できます。いつ、誰が、どんなコメントをつけたかが一目でわかります。

無償のAdobe Readerユーザーでも、注釈ツールの使用や電子署名の付与が行えるよう、Adobe PDFに権限を付与することが可能（Acrobat Proのみの機能）。より多くのメンバーに文書のレビューや承認を依頼できます。

文書の回覧・承認をスムーズに

複数人で文書を回覧し、承認する作業も、メールを使ってスムーズに行えます。メールを受け取った承認者は文書の内容を確認し、PDF上に自分の名前と日付の入った電子印鑑を押印し、その場から次の承認者に素早く回すことができます。

承認者はPDFを開くと表示される手順に従って電子印鑑を押し、次の承認者にメールを送信します。

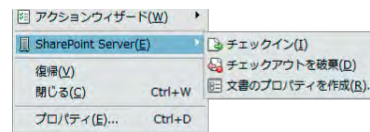


Microsoft SharePointとの連携*

NEW

SharePoint上のPDFファイルをAcrobatで直接開き、チェックアウトして編集することができます。その後チェックインして保存することで、複数人数での共同作業とバージョン管理を支援します。

*Windowsのみ



大容量ファイルを簡単に共有

NEW

Acrobat XとAcrobat.comオンラインサービスを組み合わせることで、チームの共同作業がさらに効率化できます。Acrobat Xでは、メールで送れないような大きなサイズのファイルを送信するサービス「Adobe SendNow」に操作画面内からアクセスができ、手間をかけることなく大容量ファイルの送信が行えます。

保護

機密情報を安全に保護して共有

Acrobat Xのセキュリティ機能を使用すれば、社外秘の機密文書や個人情報を含む重要なデータを保護しながら、多くの人と安全に共有することができます。

パスワードによる暗号化

UP

パスワードを設定して、ファイルへのアクセスや印刷・編集の権限を制限することができます。

一部の情報を完全に削除

UP

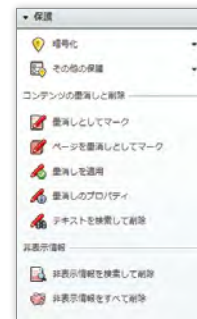
「墨消し」ツールを使用して一部のテキストや画像を塗りつぶすと、同様の情報をすべて検索してファイル内から恒久的に削除します。

(Acrobat Proのみの機能です)

非表示の情報を削除

UP

メタデータやトリミング後のコンテンツ、オブジェクトが重なって隠れてしまった情報など、非表示の情報を検索して簡単に削除できます。

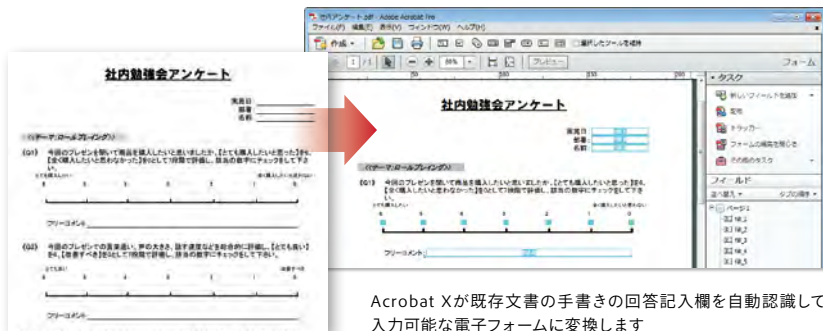


日報や精算書、アンケートなどのデータ収集は、時間と手間がかかるものです。Acrobat Xのフォーム機能を使用すれば、パソコンで入力可能な電子フォームを簡単に作成できるだけでなく、フォームの配布から回収、集計までを自動化できます。



既存文書から電子フォームを簡単に作成

既存の電子文書やスキャンした紙文書から、パソコンで入力可能な電子フォームを簡単に作成できます。作成したフォームは、メールで一斉に配布することができ、Acrobatまたは無償のAdobe Readerを使用して簡単に入力できます。



Acrobat Xが既存文書の手書きの回答記入欄を自動認識して、入力可能な電子フォームに変換します

フォームデータの収集・集計を自動化

返信されたフォームデータを1つのPDFファイルに自動的に収集し、集計結果を一覧リストで表示できます*。さらにそれを表計算シート（CSV形式）に書き出して、分析やレポートに活用することも可能。データを再入力する手間はありません。

フォーム集計ファイルでは、返信されたフォームデータの自動収集や更新、指定した条件に合致するデータだけを表示するフィルタリング、表計算シートへの書き出しなどが行えます

送信	ファイル	書き出し	アーカイブ	印刷	集計	共有	削除
2010/09/12 12:22:41	2010/09/12 15:13:45	2010/09/12 18:45:05	2010/09/13 10:25:36	2010/09/13 12:41:23	2010/09/14 18:45:10	2010/09/14 15:13:45	2010/09/14 15:25:35
前田 竜子	竹内 康夫	池田 光一	中山 信二	幸田 新	田中 次郎	畑山 五郎	沖 真一郎
0	1	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0

*最大500人を対象とする非定型フォームの配布およびデータの収集に利用可能

		Standard	Pro
作業の効率化	使いやすく整理された新ユーザーインターフェース	○	○
	日常的に使用する複数の作業を自動化する「アクションウィザード」	—	○
作成	印刷可能なアプリケーションからのPDF作成	○	○
	Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Lotus Notes、Publisher、AccessからのワンボタンPDF作成*	○	○
	AutoCAD、Visio、ProjectからのワンボタンPDF作成*	—	○
	スキャンしたファイルを検索可能にして（OCR）、最適化	○	○
	Webページ（Internet Explorer、Firefox）からのワンボタンPDF作成**	○	○
	複数のファイルをひとつのPDFに束ねる「ファイルの結合」	○	○
編集	複数のファイルをPDFポートフォリオにまとめる	—	○
	PDF内の文書テキスト（文字）を編集または新たに文字を追加	○	○
	PDF内のオブジェクト（画像など）を編集、位置調整	—	○
	しおりの追加	○	○
	ヘッダー・フッター／背景／透かしの挿入	○	○
	ページ単位での回転、削除、分割、トリミング	○	○
再利用	マルチメディアを追加	—	○
	PDFをWordやExcel形式で保存し直す	○	○
注釈	選択した範囲のみを別の形式で保存し直す	○	○
	PDF上にコメントやメモを記入する「注釈」や「描画マークアップ」の利用	○	○
共有	チーム全員で情報とコメントを共有する「共有レビュー」を開始	○	○
	Adobe Readerのユーザーに全ての注釈ツールの使用権限を付与	—	○
	文書の閲覧・承認を開始	○	○
	Adobe Readerのユーザーに承認プロセスへの参加権限を付与	—	○
フォーム	「共有」パネルウィンドウから大容量ファイルをオンラインサービス経由で送信（Adobe SendNow）	○	○
	Microsoft SharePointとの連携*	○	○
保護	PDFフォームの作成及びデータの収集や収集状況の追跡	○	○
	高度なフォームを作成するAdobe LiveCycle Designer ES2を同梱*	—	○
保護	アクセス権の設定や、印刷・編集の権限設定など、パスワードによる暗号化	○	○
	個人情報や秘匿情報などの文書の一部を削除する「墨消し」	—	○
保護	メタデータやトリミング後のコンテンツなどを削除する「非表示情報の削除」	○	○

*Windows版のみ ** Internet Explorer対応はWindows版のみ

Adobe Acrobat バージョン別 比較表

		Acrobat X	Acrobat 9	Acrobat 8	Acrobat 7.0
より効率的な操作					
パネルウィンドウの採用： ほとんどの機能を一か所に集約し、わかりやすく		○	—	—	—
クイックツール： よく使う機能をメニュー下のクイックツールに登録		○	—	—	—
閲覧モードの搭載： 内容の閲覧に集中するため、メニュー等の表示を最小限に		◎	○	○	○
アクションウィザード： 日常的に使用する複数の作業を登録して自動化*2		○	—	—	—
PDFの作成					
ワンボタンPDF作成機能対応*1 (Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Access)	Office 2010 (32ビット版) 対応	○	—	—	—
	Office 2007対応	○	○	○*	—
	Office 2003対応	○	○	○	○
	Office XP (2002) 対応	—	○	○	○
WebページをPDFとして保存	Internet Explorerからのワンボタン作成*1	○	○	△	△
	Firefoxからのワンボタン作成	○	—	—	—
	Acrobatのメニューからの作成	○	○	△	△
「スキャナからPDFを作成」： 紙文書をスキャンしてPDFとして保存	OCR (文字認識) 機能搭載	◎	○	○	○
	ClearScan対応	○	○	—	—
	ファイル圧縮率の向上	○	—	—	—
ファイルサイズの縮小： 既存のPDF文書の互換性確保やファイルサイズの縮小		○	○	○	○
束ねる					
複数のファイルをAdobe PDFに変換して1つに束ねる		◎	○	○	△
PDFポートフォリオ：さまざまな形式のファイルを、その形式を保ったまま一つのPDF内にまとめる		◎*2	○	—	—
編集					
PDF内の文書テキストを編集		○	○	○	○
PDF内の画像の編集、位置調整*2		○	○	○	○
ページの回転／削除／抽出／置換		○	○	○	○
ページ内にヘッダー・フッター／背景／透かしの挿入		○	○	○	○
動画ファイルをPDFに挿入*2		○	○	○	○

		Acrobat X	Acrobat 9	Acrobat 8	Acrobat 7.0
再利用					
PDFをWord形式で保存して再利用		◎	○	○	○
PDFをExcel形式で保存して再利用		○	—	—	—
PDF上で選択した内容のみをWord、Excel形式で保存		○	—	—	—
注釈					
各種ツールを使ったPDFへの注釈作業 (コメント記入)		○	○	○	○
共有					
共有レビュー： レビュー参加者がお互いのコメントをリアルタイムに参照		○	○	○	—
Adobe ReaderユーザーへAcrobatと同等の注釈機能利用権限を付与*2		○	○	○	○
Microsoft SharePointとの連携*1		◎	○	○	—
「共有」パネルウィンドウから大容量ファイルをオンラインサービス経由で送信 (Adobe SendNow)		○	—	—	—
保護					
パスワードを用いて文書へのアクセス権や印刷・編集の権限を設定		◎	○	○	○
墨消し：個人情報や秘匿情報など文書の一部を削除*2		◎	○	○	—
非表示情報を削除：メタデータやトリミング後のコンテンツなどを検出して削除		◎	○	○	—
フォーム					
PDFフォーム：PDFに記入可能なフォームフィールドを設定		○	○	○*2	○*2
フォームフィールドの自動認識による簡単なPDFフォーム作成		◎	○	○*2	—
データの収集	メール利用など手動の収集	○	○	○*2	—
	社内サーバーやAcrobat.comを利用した自動収集	○	○	—	—

◎：前バージョンと比べて機能を強化 ※：アップデート適用が必要。Outlook、Accessは未対応
 ○：対応 *1 Windowsのみ
 △：一部制限あり *2 Acrobat Pro / Professionalのみ
 —：未対応

最新の詳細情報は、www.adobe.com/jp/acrobat/にてご確認ください。



ADOBE® ACROBAT® X SUITE

ドキュメントに、伝わる力を。

AcrobatやPhotoshop®を含むビジネスツールセット

Acrobat X Suiteがあれば、あらゆるデジタルコンテンツのキャプチャから編集、統合、配信までを、プロの手を借りることなく自身のデスクトップで簡単に行えます。高品質な画像、ビデオや音声、画面キャプチャ、フォームなどの機能を備えた、表現力のあるビジネスドキュメントを作成し、チームや顧客、パートナーと効率的に共有することができます。

Acrobat X Suiteには、以下の製品が含まれます。



ADOBE ACROBAT X PRO

動画や音声などのリッチコンテンツを含む Acrobat Dynamic PDFを効率的に作成・共有・活用するための次世代ビジネスコミュニケーションツールです。



ADOBE PHOTOSHOP® CS5

最高水準の画像編集ツールを使用して、ビジネスドキュメントにプロフェッショナル品質のビジュアルを追加できます。



ADOBE CAPTIVATE® 5

ビデオ、オーディオ、画面録画、スライドなどを組み込んだリッチなeラーニングをコンテンツを、プログラミングなしで作成できます。



ADOBE PRESENTER 7

PowerPointで作成したスライドを、簡単な操作で魅力的なマルチメディアプレゼンテーションに変身させます。



ADOBE LIVECYCLE® DESIGNER ES2

高機能なフォームを既製のテンプレートから簡単に作成することも、または最初からデザインすることも可能です。



ADOBE MEDIA ENCODER CS5

多様な形式のビデオを、Acrobat X Suiteで作成中のドキュメントに読み込み、再生できる形式に変換します。

製品についての詳しい情報は www.adobe.com/jp/acrobat/

ADOBE ACROBAT X へのアップグレード

◎ 対象製品をお持ちのお客様は通常版よりもお求めやすい価格でご購入いただけます

現在お持ちの製品

アップグレード製品

- Acrobat 7.0 / 8 / 9 Standard



Adobe Acrobat X Standard



- Acrobat 7.0/8 Professional
- Acrobat 9 Pro



Adobe Acrobat X Pro



特別提供版対象*

- Acrobat 3D / Acrobat 3D Version 8
- Acrobat 9 Pro Extended
- Acrobat 7.0 / 8 / 9 / X Standard

特別提供版対象*

- Acrobat 7.0/8 Professional, Acrobat 9/X Pro
- Acrobat 3D / Acrobat 3D Version 8
- Acrobat 9 Pro Extended
- Captivate 3 / 4 / 5
- Photoshop CS3 / CS4 / CS5
- Photoshop CS3 / CS4 / CS5 Extended



Adobe Acrobat X Suite



*パッケージ版(ダウンロード版含む)の特別提供版はアドビストアでのみのご提供となります。ライセンス版の特別提供版は各お取り扱い販売会社にてご購入いただけます。

※【Acrobat X単体製品へのアップグレードに関するご注意】現在お手持ちの製品が該当バージョンの単体製品の場合のみアップグレードが可能です。Creative Suiteなどの統合製品に含まれる製品からのアップグレードはできません。

※最新のアップグレード対象製品については、www.adobe.com/go/acroXupg_jpをご覧ください。

※必要システム構成やアップグレード対象製品は予告無く変更となる場合がございます。ご購入前に必ずご確認ください。

法人向けのお得な ACROBAT導入方法

アドビ ライセンスプログラムのご案内

Acrobatの導入数に応じてお求めやすく、ソフトウェア運用や管理の手間も省ける、便利でお得なライセンスプログラム。1ライセンスから手軽に導入できるTLPと、全社規模での導入に最適なCLPの2つのプログラムをご用意しております。

▼ 購入ライセンス数が増えるほど割引率アップ

導入されるライセンス数をポイントに換算し、ポイントの合計数によって価格レベルが決まるため、オーダーのボリュームが大きいほど割引率が高くなります。



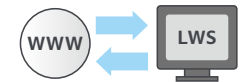
▼ ライセンス管理、運用の手間を軽減

複数のライセンスを全て1つのシリアルナンバーで管理できるので、インストール時やアップグレード時の手間を大幅に軽減できます。



▼ ソフトウェア資産のリスク管理に役立つ

お客様専用のWebサイト、LWS(Adobe Licensing Web Site)にて、ソフトウェアのライセンスについて一元的な管理を行うことができます。それにより様々な企業リスクを低減できます。



アドビ ライセンスプログラムの詳細は www.adobe.com/jp/avl/

必要システム構成

ADOBE® ACROBAT® X STANDARD

Windows*

- ・ 1.3GHz以上のプロセッサー
- ・ Microsoft® Windows® XP Home、Professional、Tablet PC Edition (32-bit版および64-bit版; 32-bit版はService Pack 3、64-bit版はService Pack 2) 日本語版、Windows Server® 2003 (32-bit版および64-bit版; 64-bit版はService Pack 2が必要) 日本語版、Windows Server 2008または2008 R2 (32-bit版および64-bit版) 日本語版、Windows Vista® Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、Enterprise (32-bit版および64-bit版、Service Pack 2) 日本語版、Windows 7 Starter、Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise (32-bit版および64-bit版) 日本語版
- ・ Internet Explorer 7または8、Firefox 3.5または3.6

▶ 最新の必要システム構成については、www.adobe.com/go/acrobatstd_sysreq_jp をご覧ください。

- ・ 512MB以上のRAM (1GB以上を推奨)
- ・ 1.1GB以上の空き容量のあるハードディスク
- ・ 1,024×576以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- ・ DVD-ROMドライブ
- ・ ビデオハードウェアアクセラレーション (オプション)



Windows*

ADOBE® ACROBAT® X PRO

Windows*

- ・ 1.3GHz以上のプロセッサー
- ・ Microsoft® Windows® XP Home、Professional、Tablet PC Edition (32-bit版および64-bit版; 32-bit版はService Pack 3、64-bit版はService Pack 2) 日本語版、Windows Server® 2003 (32-bit版および64-bit版; 64-bit版はService Pack 2が必要) 日本語版、Windows Server 2008または2008 R2 (32-bit版および64-bit版) 日本語版、Windows Vista® Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、Enterprise (32-bit版および64-bit版、Service Pack 2) 日本語版、Windows 7 Starter、Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise (32-bit版および64-bit版) 日本語版
- ・ Internet Explorer 7または8、Firefox 3.5または3.6

- ・ 512MB以上のRAM (1GB以上を推奨)
- ・ 1.9GB以上の空き容量のあるハードディスク
- ・ 1,024×576以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- ・ DVD-ROMドライブ
- ・ ビデオハードウェアアクセラレーション (オプション)

* Adobe LiveCycle® Designer ES2 を同梱 (Windows 版のみ)

▶ 最新の必要システム構成については、www.adobe.com/go/acrobatpro_sysreq_jp をご覧ください。

Mac OS

- ・ インテル®プロセッサー
- ・ Mac OS X v10.5.8またはv10.6.4 日本語版
- ・ Safari 4または5 (Safari 5にはMac OS X v10.6.4が必要)
- ・ 512MB以上のRAM (1GB以上を推奨)
- ・ 1.2GB以上の空き容量のあるハードディスク
- ・ 1,024×768以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- ・ DVD-ROMドライブ



Windows*/Mac OS

ADOBE® ACROBAT® X SUITE

Windows*

- ・ 1.3GHz以上のプロセッサー
- ・ Microsoft® Windows® XP Home、Professional、Tablet PC Edition (32-bit版および64-bit版; 32-bit版はService Pack 3、64-bit版はService Pack 2) 日本語版、Windows Server® 2003 (32-bit版および64-bit版; 64-bit版はService Pack 2が必要) 日本語版、Windows Server 2008または2008 R2 (32-bit版および64-bit版) 日本語版、Windows Vista® Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、Enterprise (32-bit版および64-bit版、Service Pack 2) 日本語版、Windows 7 Starter、Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise (32-bit版および64-bit版) 日本語版
- ・ Internet Explorer 7または8、Firefox 3.5または3.6

▶ 最新の必要システム構成については、www.adobe.com/go/acrobatuite_sysreq_jp をご覧ください。

- ・ 2GB以上のRAM
- ・ 4.3GB以上の空き容量のあるハードディスク (32-bit版) または5.1GB以上の空き容量のあるハードディスク (64-bit版)
- ・ 1,024×768以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- ・ 2層対応DVD-ROMドライブ
- ・ ビデオハードウェアアクセラレーション (オプション)



Windows*

* 必要システム構成やアップグレード対象製品は予告なく変更となる場合がございます。ご購入前に必ずご確認ください。

本製品は、インターネット接続と適用を受ける利用条件およびプライバシーポリシー (<http://www.adobe.com/jp/misc/terms.html>) への同意が必要なオンラインサービスと統合しています。Adobeのオンラインサービスは: (a) 13歳以上のユーザーのみが利用できる、(b) 国や地域、言語によっては提供されていないことがあり、(c) 予告なく中止することがあり、また (d) ユーザー登録、追加料金もしくは利用料金が必要となる場合があります。

アドビ システムズ 株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー www.adobe.com/jp/

この冊子に記載の情報は、2010年10月現在のものです。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, the Adobe PDF logo, Captivate, Flash, LiveCycle, Photoshop, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Microsoft, Windows, Windows Server, and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. Mac OS is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Intel is a trademark of Intel Corporation in the U.S. and other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan. ASJST880 10/10

